

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 241 号 2018. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## おかげさま！ホットニュース祝 20 年

おかげさまで、ホットニュースは発行 20 年を迎えました。新潟県の稲作実施者の飯塚さんを訪問した報告を TOREK 内で行ったときに、生産者の真剣な取り組みや、訪問した人たちの感想を、より多くの人にお知らせするよとの趣旨で、1998 年(平成 10 年)5 月にスタートしました。

それから 20 年、ホットニュースの役割は、自然農法の実践現場と購入現場のパイプ役はもちろんのこと、「目に見えない自然の力を感じる心」、食を通じ元気になった人等が「世の中ののためにと考える心」の涵養へと繋がってきています。

長期間、無施肥で作物が育つのか、土が衰えないかと、今もよく尋ねられます。作物生産や土壌診断から、「使用できる地力チツソは小さいが、潜在的な地力に富む」「無施肥なのにチツソがあるのが不思議」と評されます。微生物の効果、下層部からのチツソ移動や、その複合での効果の他に、岡田茂吉の農業理論に接し、未だ発見されていない土壌の未知の力、働きによるものとも考えられます。

ホットニュースでは、自然農法実施者や、頒布会スタッフの発見や感想、作物を食しての感謝、感動、感激の声を発表しています。これらを通じて、土壌の有する不思議な点の発見に繋がることと思います。岡田茂吉の農業理論では、土の清浄化、自然農法での自家採種の継続、連作にて圃場に適した作物になることが示されています。私たちは、土の清浄化に重きをおいた TOREK 自然農法認定規格(TORES)を 2018 年に設置し、認定活動を始めたところです。

ある農産展の展示では、自家採種、連作を行う中で、購入種・苗の無施肥無農薬栽培とを比較すると、そんな色ない大きさであったり、多収であったりとを観察できました。生産物・販売物として、発芽の確保、色・大きさ・形・収量の安定化などにおいての大きな課題があります。

生産現場の課題に協力し、岡田茂吉の農業理論を厳密に、継続して実施していける TOREK 自然農法活動を進め、紙面で発表していきたいと思っています。(TOREK 普及員:長島光良)



## 自然農法普及 一次の 10 年に向けて

発行 20 年、おめでとうございませう。私もホットニュース創刊の年の平成 10 年 4 月に、木島平村に就農しました。20 年という時間の経過の早さに、戸惑いとともに、当時の自分を懐かしく、また当初、抱いておりました真の自然農法普及への想いを改めて噛みしめておられます。

自然農法に対する見方も、20 年前に比べると、大きく異なっており、消費現場にみられる TOREK 自然農法への反響や、熊本県の渡辺さんのテレビ放映などを見ても明らかに、世の中の受け止め方が変わり、ごく自然に消費者の方々には自然農法の商品を選択するようになってきました。

生産現場においても、にわかに自然農法、無肥料栽培、自然栽培、無投入、自然農という名称の活動が広がっており、またその活動を農協、自治体が全面的に支えていこうとする地域も出てきました。

今から 15 年くらい前だと思いますが、「これから農家を含め、多くの業態の人たちが、必ず自然農法を口にしてあらわれてきます。そのときに、その大きな波に飲み込まれることなく、しっかりと正しく、真の自然農法の勉強と実施をしていくなさい。それがあなた方の役目です」と教えていただきました。

今まさにそのような時代に入ってきたなかで、実証の責任を強く感じています。「正しいことですから堂々とやっていってください」と、いつも TOREK 責任者は私たち生産者を励ましてくださっております。そして、正しき実践、実証を行う『次の方々が生まれるように』とのお言葉を頂いています。次の 10 年に向けて、良い報告ができますように、普及活動へ取り組んでいきます。(木島平生産者:堀 政則)



## 長柄山自然農園 便り - その 1 -

海の向こうでは、中国の首席と北朝鮮の最高指導者の会談が行われた。世界でも人権侵害がひどいと思われる国同士だ。そして今後の、米の大統領と北朝鮮の最高指導者の会談の行方はどうなるだろうか。日本から拉致された人々の帰国できる可能性は高くなるのだろうか。

さて、同じ時代に、一般のゲージで飼育されている鶏は A4 のコピー用紙くらいのスペースで、身動きもできず卵を産んでいるんですよ、などと言っている…。

今年から、長い付き合いの孵化場からヒヨコが届かなくなってしまった。普通、産まれたてのヒヨコにマレックワクチンを強制的に接種することになっているのだが、その孵化場から、無理を言って証明書付きで、ヒヨコをマレックワクチンなしで送ってもらっていたのだ。以前、鳥インフルエンザの影響で輸送されなくなったときも、成田空港着という輸送ルートでなんとか送ってもらっていたのだが、今回から全く届かなくなってしまった。運送業者が、他の荷物と一緒になので嫌がるらしい。風評被害の影響は、ジリジリと、身動きのとれないように締め付けてくる。毎年冬場に鶏を肉にししたり、ヒヨコを入れたり、動きがあるが、業者が営業を突然休止されたりと、不安定で神経を使うことおびたしい。

しかし、こんなときのためと、もう 1ヶ所、協力してくださる孵化場を確保しておいて、小羽数ながら仕入れて飼育していたのが良かった。鶏は黒く白い斑点模様のある国産改良種で、卵と肉の兼用種である。体が大きく、餌もかなり食べる。ヒヨコを受け取りに行く運送会社の営業所も、以前は家から 30 分の所だったのだが、高速も使って 2 時間もかかる所になってしまった。

そんなような状態でも、日々一同、奮闘し続けています。私は、肉体は古いのだが、魂はとても若い。魂だけは、ヤングマンだが！ …次号につづく (長柄山自然農園:山本由希彦)

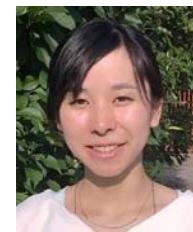
## 体の内側から温まる、ほうじ茶！

東京都 蛸井由佳

昨年、職場の先輩に自然農法のほうじ茶を差し上げることができました。

彼女は生理痛が重く、ひどいときは、職場で動けなくなってしまうほどでした。弥生会の先輩に相談すると、「自然のほうじ茶をあげてみたら」と、自分の体験を話してくれました。早速ほうじ茶を購入し、「自然のお茶で、生理痛が良くなるかもしれない」と簡単にお伝えしお渡ししました。

後日、感想を聞くと、「生理が来た当日に飲んだら、体の内側から温まる感じがして、痛みが和らいだ。次の日は痛みもなく、スツと朝起きて、今までは外から温めてみたり、温かい飲みものを飲んでダメだったのに、すごい！」と、とても喜んでいました。彼女の変化と興奮にとっても驚き、改めて自然農法の作物の持つ力を教えられたと感謝しました。その後も定期的にお茶をお渡ししているの、さらに一歩進んだお話ができるよう、取り組んでいきたいです。



## お知らせ

- ★ 自然農法頒布会 5月27日(日)、6月11日(月) 三咲会場 10:00~14:00
- ★ 自然農法頒布会 6月18日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 6月30日(土) 東中野会場 10:00~15:00

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々から直接販売されます。 東京都八王子市市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産:甘納豆、米粉、納豆
- 市川生産グループ:新茶
- 長柄山自然農園:卵、ひき肉
- 菜園金野:サラダ小松菜、人参、大根
- 中島農園:キヌサヤエンドウ、スナップエンドウ、ウドの芽、小松菜、ホウレンソウ、フキ
- ジョリフィユ:シュークリーム、マドレーヌココア、みかんジュースゼリー他

お問い合わせ先:編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>